

1月18(水) 愛媛県立松山南高等学校 第7回教養アップ講座

「細胞傷害による疾病のなりたち・高大連携と総合型選抜の意義」

講師 愛媛大学プロテオサイエンスセンター 増本 純也 教授

【内容】 病理学では、疾病の原因を内因と外因に分類する。内因は先天的で、外因は細胞傷害による。最近、細胞傷害を認識する受容体が発見され、疾病が分子のレベルで語られるようになってきた。本講義では疾病のなりたちと総合型選抜の意義について概説する。

【生徒の感想】

○私は国際協力ができる仕事に就きたくて、国際関係学部などに進学を考えていました。しかし、私のやりたい国際協力について考えてみた結果、大学では専門知識を身に付けておく方がいいと思ったのでいろいろな分野を見てみるために参加しました。今まで「高校→大学→就職」と心のどこかで思っていたのですが「大学→大学→就職」や「大学→やりたいこと探し→大学→就職」という選択も普通にしているのだと少し安心しました。私は文系選択ですが、体のしくみや栄養学などにも興味があるので残りの時間でもっとよく考えて楽しく学んでいける進路選択をしようと思います。

○時間があっという間に過ぎるくらい魅力的な講座でした。増本先生のこれまでの生い立ちを知って、努力で人は変われると実感しました。私はもともと医学部志望でしたが、自分の学力のなさに呆れて、早々と諦めていました。自分の選択肢を広げるために、入試までの1年、この短い期間で伸ばせるところまで伸ばしていきたいです。そして、増本先生のような、自分を見つけてやりたいことをする、夢をあきらめない人になりたいです。

○今回は医療寄りだったので創薬などの話が出てきたが、創薬の分野に貢献するためには薬学部だけでなく、関係ないと思っていた工学部などでも関わることができると知って驚いた。今までとは違う道が見えたような感じだった。夢は皆が持つものだが、自分はその夢について考えたときに、どうしても「限界」を作ってしまうがちで諦めやすいのでそのような限界を取り払ってその夢を実現させるためには何ができるか、視野を広くして様々な視点から見えていこうと思う。

○「梅田奇病」の話を聞いて、自分のできる最大限の努力をすることで多くの人々の命が救えるのかもしれないのだと思った。普段から継続していることがいつか自分や他の

人の役に立ち発揮されるときがくるというのは、これから先でも様々なことに生かせそうだと感じた。また、医療現場では一人ではできずチーム医療だという言葉がすごく印象に残った。ドラマや小説の中では、優れた一人の外科医などが病院などで活躍している姿が描かれているが、実際には病院内のいろいろな科の医師、看護師、検査技師などが人々を救っているのだと知れた。医療と言えば医師が表向きだが、人々は病院全体の人たちによって救われているという意識を持つことができた。人々を救う医療現場では医師以外の人々でも多く活躍ができるのだと改めて知ることができた。今回の教養アップ講座によって少し勉強のモチベーションが上がった。

○医者というと外科医や内科医が有名だが、裏でたくさん研究をしている人が陰で支えていることを知り、人々のために役立つ仕事はたくさんあると感心しました。また、増本先生が行っていた海外の大学は規模がとても大きく、研究もたくさん行われていて、学びたいことをできるっていうのは素晴らしいと思いました。総合型選抜のお話では「アドミッション・ポリシー」を深く読むことが大事で、入試の際に気を付けなければならないと思いました。

○何かの病気を治すため一番目に必要なことはその病気がなぜ発生するのかということだと考えていて、その方法や内容を知りたいと思っていました。今までウィルス等によっておこる病気は、ウィルスが直接人体を攻撃するものだと思っていましたが、細胞が異常をきたしたり、防御機能が変化したりしてしまうことで病気が発症するということはとても興味深いものでした。

○「医学部」と単に言っても、たくさん学科があったり、研究の目をつけるところも違っていたりしてとても面白かったです。志望校に落ちてしまっても自分の一番行きたい！と思う大学でないところでも、自分のできることを全力でして、経験をとことん生かしているところがすごいな、と思いました。また、研究、留学、イベントなど楽しんでいるという雰囲気が感じられて、私もそれくらい夢中になれるようなことを見つけて打ち込んでいきたいし、世界のいろいろなところも見てみたいくなりました。

○看護の道に進むことは幼い頃から決めていましたが、成績だったり経験だったり不安なことが多かったのですが、今高校でしかできないことを経験としてたくさん積み上げていきたいと思います。現在 DS での医療に関する研究も役に立っていくと自信に繋がりました。先生の思い出話も含めたユーモアある講義によって楽しく受講できました。今後の生活で「リサーチマインド」を大切にしたい自分のやりたいことを明確にし、志望大

学に突き進んでいきたいと思います。アドミッション・ポリシーなどの入試要項をしっかりチェックし、ふさわしい人間になれるよう努力します！

○私は、1年後や卒業後のイメージが全然わかなくて、ただ漠然とどこかに行きたいくらいしか想像していなかったけど、体験談を聞いて「そんなこともできるんだ」と思うことがたくさんあり、今のままだと叶えるのが難しそうだけど自分のしたいことをもう一度しっかりと考え、諦めずに努力していきたいと思いました。また、すべて繋がっているからどんなことも一生懸命することにより、関係ないと思っていたところと結びついて活用することができるということを知ったので、どんなことも自分なりに努力しながら取り組みたいです。大学が提示しているアドミッション・ポリシーを調べて自分に当てはめて考えようと思いました。